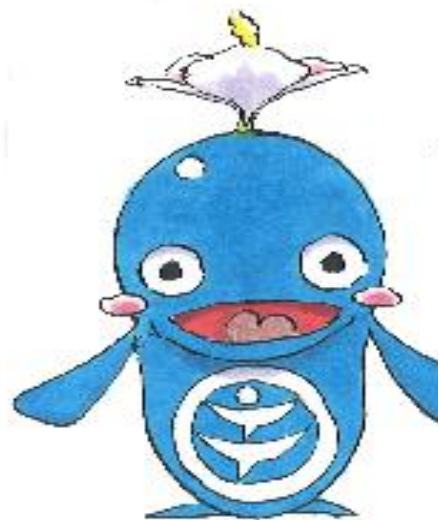


令和4年度 校内研究報告会



令和5年3月15日
栃木県立富屋特別支援学校

1 目的

- ▶ 新学習指導要領の趣旨及び栃木県教育振興基本計画の基本理念に則り、**生きる力を育む教育を推進するため、**研究主題に基づき、教育課程上の課題や成果について協議することにより、**教育課程の改善・充実に資する。**
- ▶ **児童生徒の自信と意欲を育てる指導の充実**を目指し、研究主題に基づいた授業計画、実践、評価、改善に組織的に取り組む。

2 研究主題

A	自立活動の指導における子どもの <u>主体的な取り組みを促す</u> 効果的な指導と評価の在り方
B	各教科等を合わせた指導における、各教科の基礎的な知識・技能を確実に習得させるための <u>個に応じた</u> 効果的な指導と評価の在り方
C	社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を着実に育成するための <u>個に応じた</u> 効果的な指導と評価の在り方

4 実践報告

【研究主題 A】 高等部

学校課題

「児童生徒が主体的に取り組める
自立活動の指導の工夫」

(1) 研究の主な内容

①研修

「自立活動」について

- ・教職員の意識の向上

②事例検討

- ・各課程、グループに分かれての検討
- ・個別の教育支援計画について
 - 実態把握、課題の抽出などの記入の仕方
 - 活用方法について



(2) 今年度の取り組み

- ▶ 事例検討会（6月、7月）
 - ▶ 課程Ⅰ、課程Ⅱ（各学年ごと）、重複課程→1事例ずつ
 - ▶ ・対象生徒の設定
 - ▶ ・個別の教育支援計画様式2を基に実態把握
 - ▶ ・ねらいと指導内容、手立てについて確認
 - ▶ VTRによる検討
- ▶ 事例検討会②（11月）
 - ▶ これまでの指導経過についての報告及び検討
 - ▶ VTRによる検討



研修会 （2月）

個別の教育支援計画様式2について

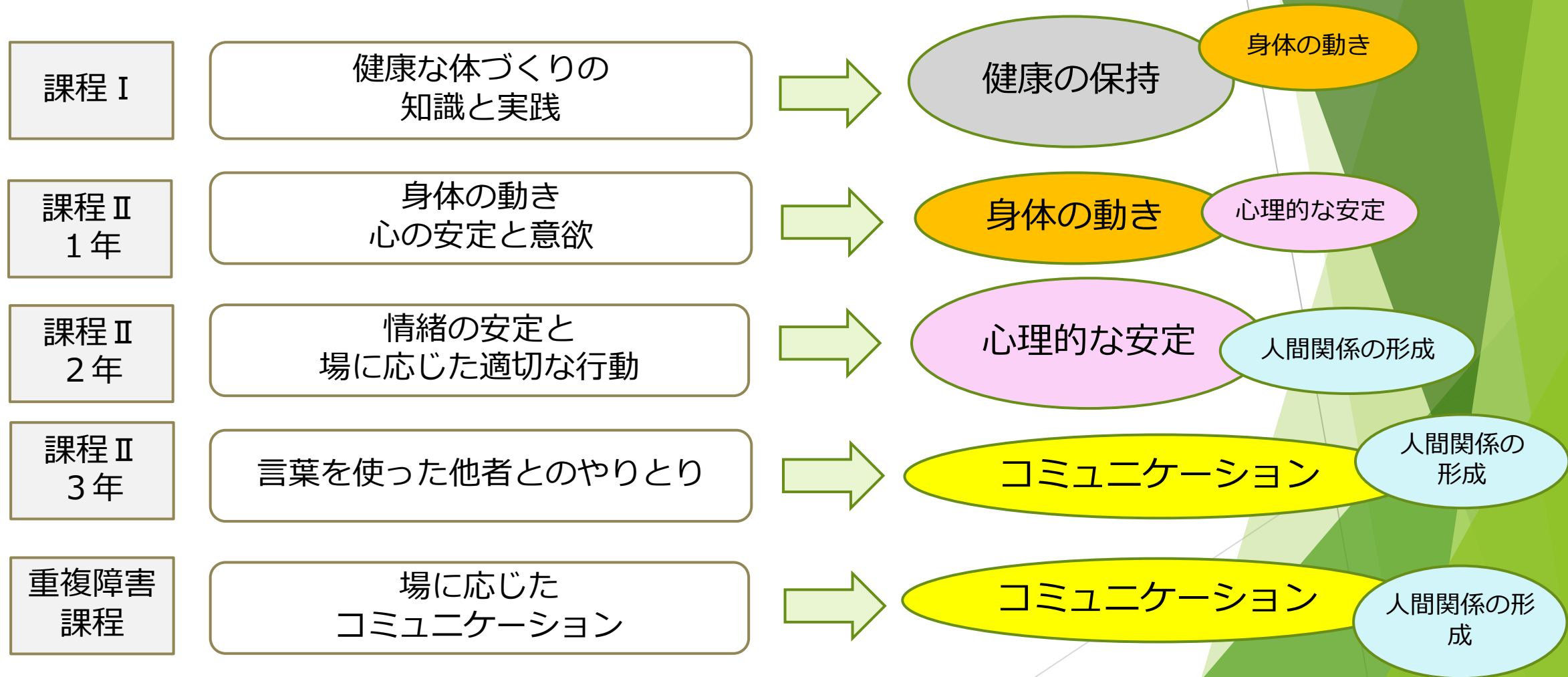
- ▶ ・記入の仕方（実態把握と自立活動の中心的課題）について各学年ごとに実施
- ▶ ・指導の評価と改善について（V T Rによる検討）



来年度に向けて

②事例検討

各グループから挙げられた対象生徒の課題



【実践事例 1】

対象生徒：K. Y（高2・課程Ⅰ）

【実態】

- ・真面目で穏やかな性格であり、時と場に応じた言葉遣いや態度が身に付いている。興味のある話題を中心に、周囲とコミュニケーションをとることができるようになってきた。
- ・手先が器用で細かい作業を得意としている。集中力も高いが、効率や時間を意識して取り組むことにはまだ課題がある。
- ・運動にはやや苦手意識があり、持久走など継続して体を動かし続けることが難しい。一方で床掃除や除草など、かがんだ姿勢で一定時間作業に取り組むことはできる。
- ・家庭では様々な家事をこなしており、簡単な料理にも取り組んでいる。栄養バランスが偏りがちだったが、この取り組みを始めてから徐々に意識できるようになってきた。

【ねらい】

- ・ 体重管理や体調管理を行い、健康な体づくりを意識することができる。
- ・ 健康な体づくりには、適度な運動やバランスの取れた食事が重要であることを理解し、実践しようとすることができる。



【指導内容と主体性を引き出す工夫】

指導内容	主体性を引き出す工夫
①食生活の管理 ・ 毎日の食事の記録 ・ 記録をもとに、毎朝担任や副担任と話す時間を設けて栄養バランスや食事量について確認 ②体重の管理 ・ 毎朝保健室に行き、体重を計測 ・ 記録をもとに、養護教諭よりアドバイス ↓ 今後は日々の体重の変化をグラフにつけることで、さらに分かりやすい形でフィードバックできるようにしていきたい	・ 毎日の食事について具体的に書き出すことで、自分の食生活の現状について理解しやすくする。 ・ 栄養バランスや量についてアドバイスをしたり、自分で作れるような簡単な献立を提案することで、実践してみようという意欲を引き出す。 ・ 数字という目に見える形で自分の状態について知ること、増加したときに原因や今後気を付けるべきことを考えるきっかけとしたり、減少したときには日々の努力が成果につながっていることを実感しやすくしたりする。 ・ 養護教諭からさらに専門的な立場でアドバイスをもらうことで、気付きを促す。

【実践の様子】



毎日の食事を記録して報告



昨日はごぼうサラダ
を食べました。

以前より野菜のメニューが
増えてきていますね。

保健室での体重測定



養護教諭からの助言



実習中は体を動かさない分、ご飯
を減らしたのは良いですね。

【生徒の変容】

本人の困り感
足の痛みが強くあり、体を動かしにくい状況

食生活の改善や運動の必要性について
本人と面談

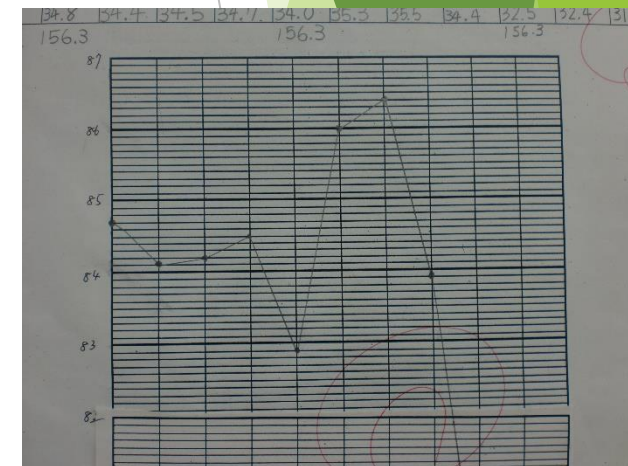
取り組み①
毎日の食生活管理

- 毎日の食事の記録
- 炭水化物の摂取量の見直し
- 間食の見直し
- 栄養バランスを考えた献立
- 記録をもとにした担任、副担任、養護教諭との面談

77.3.4kg		
2023 年 3 月 2日(木)		
	食品名	量
朝食 (4:40)	ポトフスープ	お椀一杯
	お茶(黒烏龍茶)	コップ一杯
昼食 (12:15)	(総合食)春御飯	お椀一杯
	牛乳	一個
	3まし汁	お椀一杯
	焼肉	一皿
	海藻サラダ	お椀一杯
	バナナ	一本半
夕食	ポトフスープ	お椀一杯
	お茶(黒烏龍茶)	コップ一杯

取り組み②
毎日の体重管理

- 毎朝保健室にて体重測定
- 毎月の体重の増減のグラフ化



努力の成果が目に見えて分かったことで、本人の意識が向上し、さらに主体的な行動につながっている。

(3) 研究の成果

小集団で行う
ことで・・・



個別の教育支援計画

明確化

様式 2 - 1 , 2 の活用

記入の仕方

課題の捉え方

ねらい

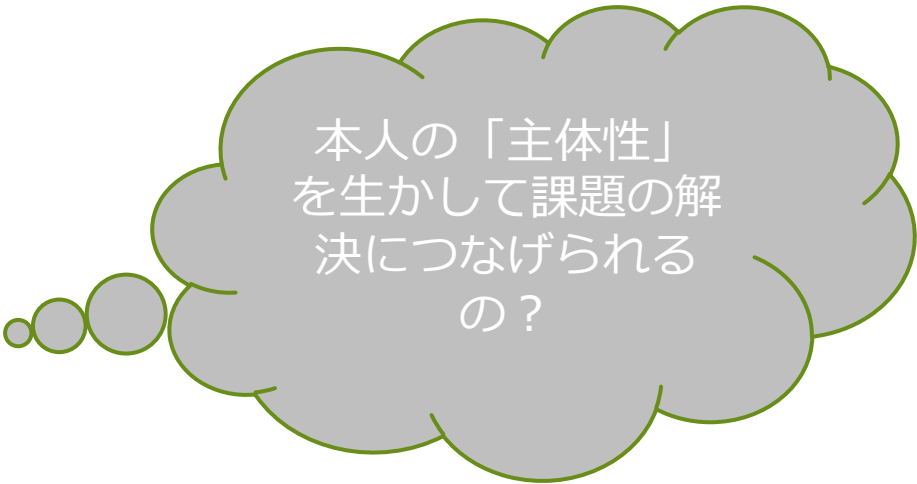
評価

(4) 今後の課題

高等部段階での「自立活動」の理想と現実

社会生活が目前

- ・ 現場実習での事業所の評価
「〇〇ができていない。」
「△△をできるようにしてほしい」



本人の「主体性」
を生かして課題の解
決につなげられる
の？

小・中学部段階
高等部段階

「できることをふやす」
「できるようにならねば」

自立活動の理念
児童生徒がよりよく生きていくことを目指し、主体的な取り組みを促す指導

児童生徒の人生は
これからも続く

(学校生活は長い人生のほんの一部)



困難な場面で自ら動こうとする
原動力を育てる必要がある。

自信 意欲 主体性

「うまくいっているところ」→得意なこと好きなこと

「つまづいているけれどうまくいっているところ」→こうすればできる

を増やすことが、今後の社会生活で生かされる。

アンケート結果より

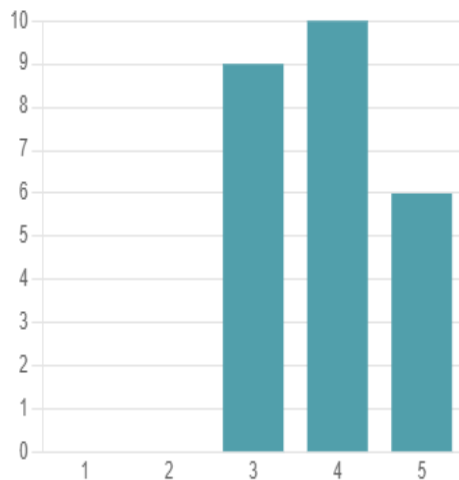
13. 生徒の実態を把握する上で、「うまくいっているところ」「つまづいているけれどうまくいっているところ」に注目することができましたか。(0 点数)

[詳細](#)

[インサイト](#)

3.88

平均評価



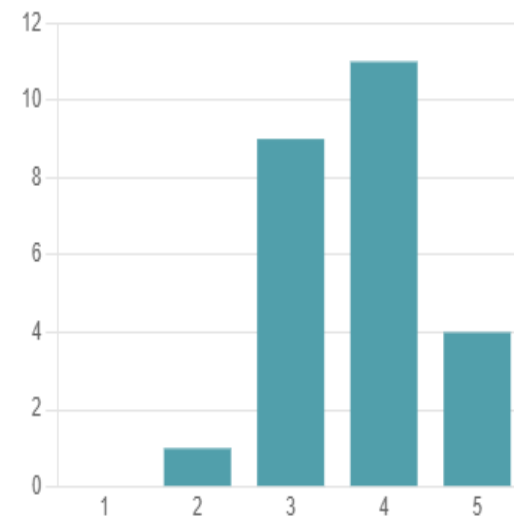
14. 指導の中で、主体的に取り組める活動を取り入れることはできましたか。(0 点数)

[詳細](#)

[インサイト](#)

3.72

平均評価



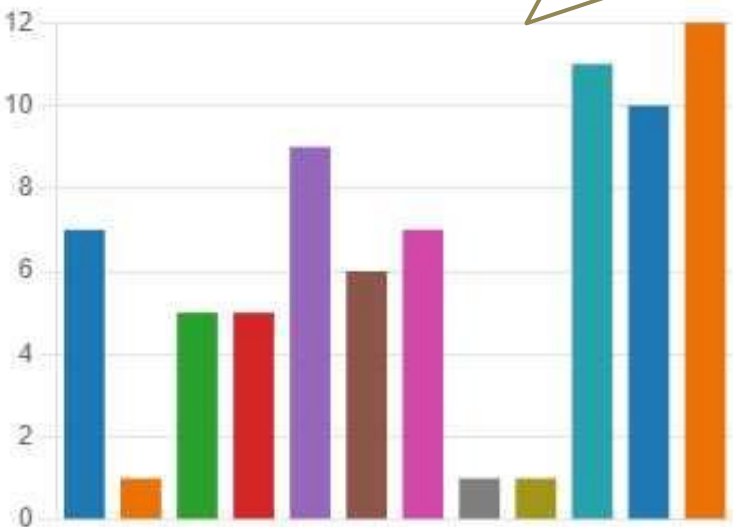
生徒のうまくいっているところに注目した実態把握や主体的な取り組みを促す指導を多くの先生が意識して行っている

アンケート結果より

12. 具体的な授業場面 (0 点数)

詳細

国語	7
社会	1
数学	5
音楽	5
保健体育	9
職業	6
家庭	7
情報	1
流通サービス	1
生活単元学習	11
作業学習	10
日常生活の指導	12



「合わせた指導」の中で自立活動の指導を行っているケースが多い

きめ細かな実態把握



- ・ 個別の教育支援計画の活用
- ・ 研修の実施
- ・ 学年、課程ごとに共通理解の場の設定

▶ 事例検討について



今年度の反省点を踏まえ
来年度も継続

【研究主題 B】 小学部

学校課題

「各教科において身に付いた資質・能力の
定着を目指した生活単元学習の効果的な
指導と評価の在り方」

(1) 研究の主な内容

- ▶ 生活単元学習の各単元における系統性の検討
- ▶ 生活単元学習の各単元における各教科等との関連の明確化と単元配列の工夫
- ▶ 各学年共通単元「買い物学習」での

授業実践と研究会

(2) 今年度の取り組み

▶ 生活単元学習の各単元における系統性の検討

各学年の共通単元：季節単元・行事単元・買い物・お手伝い等

(例)

1 段階から 3 段階までの系統性は？

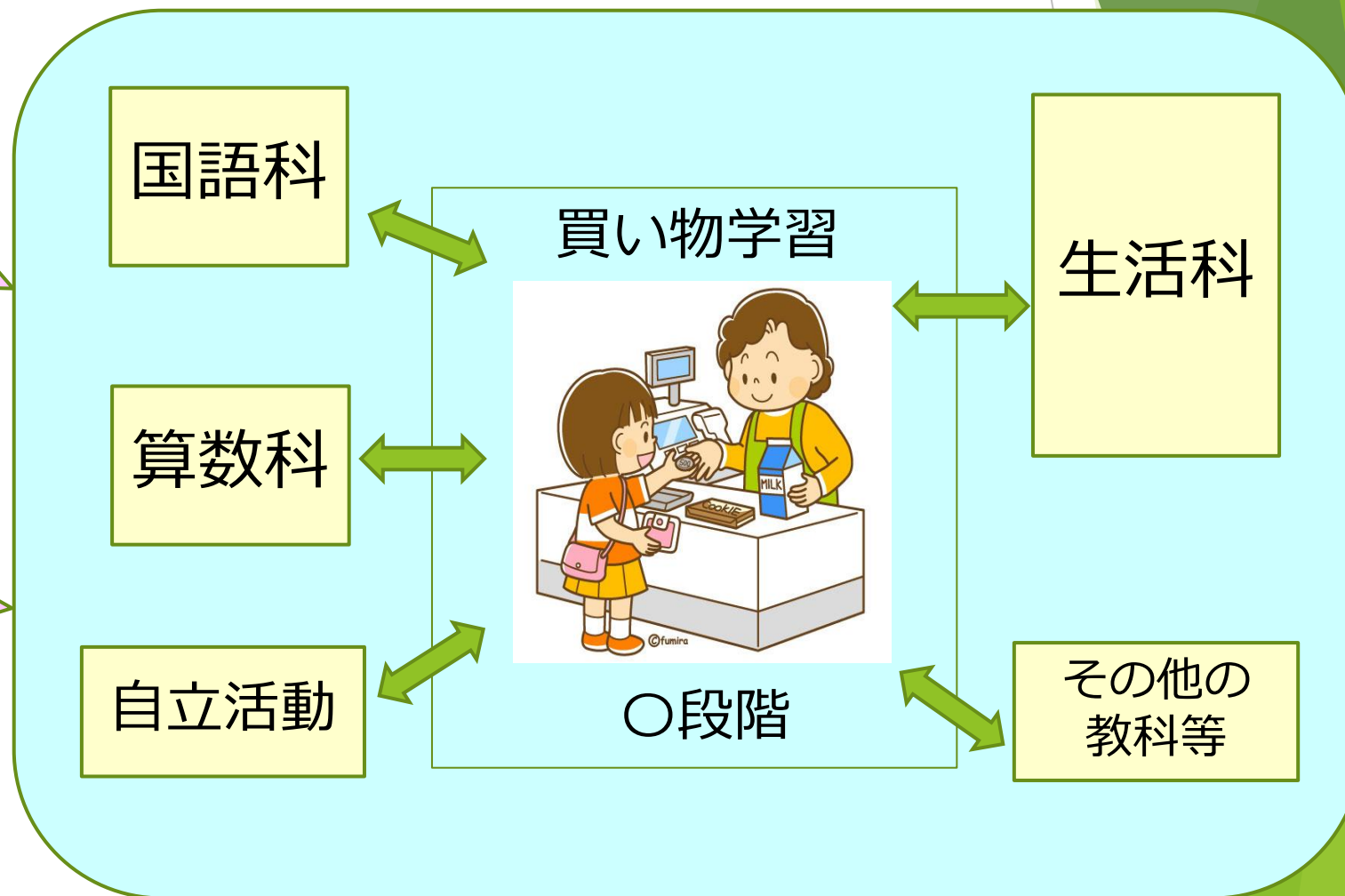
単元名	3 観点	1 段階	2 段階	3 段階
夏を感じよう	【知・技】	夏の遊びに親しむことができる。	夏の季節の特徴を知るができる。	夏の季節の特徴や変化が分かる。
	【思・判・表】	夏の遊びを通して、教師と一緒に楽しく活動することができる。	夏に関する活動を通して、身近な集団の中で教師や友達と活動することができる。	夏に関する活動を通して、様々な集団の中で進んで活動に参加することができる。
	【学】	夏の季節に関心をもち、自分なりの楽しく活動に取り組もうとする。	夏の季節を知り、身近な人と活動に取り組もうとする。	夏の季節が分かり、進んで活動に取り組もうとする。

＊新学習指導要領に記された各段階の目標・内容をもとに作成

▶ 生活単元学習の各単元における各教科等との 関連の明確化

学習内容は各教科
等の何の項目を含
んでいるか？

各教科○段階での
ねらいは何か？



ワークショップでの作成シート【2段階】

生活

国語

例) 算数

学習内容 (付箋)

適切な金額を支払う

お店のマークを見つける

決められた個数の商品を買う

「算数」2段階の目標と内容 (学習指導要領より抜粋)

(数と計算 * 金銭)

- ・金種を用いることができる。
- ・様々な種類の貨幣のもつ価値がわかる。

(数と計算)

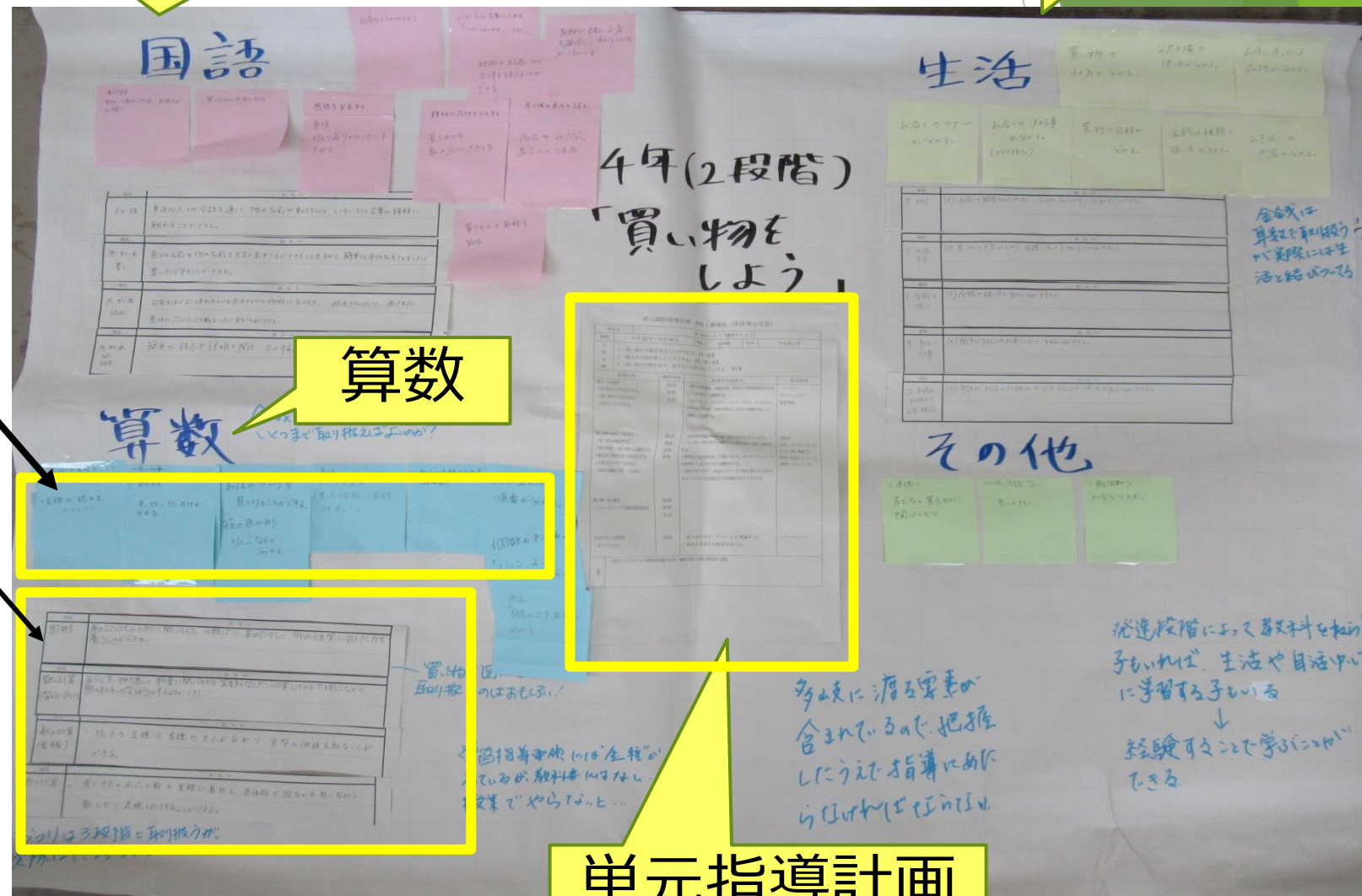
- ・10までの数の概念や表し方がわかる。
- ・日常生活の事象について、物の数に着目し、具体物や図を用いながら数の数え方を考えることができる。

(図形)

- ・身の回りの物の形に着目し、集めたり分類することを通して、図形の違いがわかる。

算数

単元指導計画



▶「買い物学習」での授業実践

①各教科等との関連（国語）

国語「書くこと」のねらい【3段階】

- 買い物に必要な物の名前を書くことができる。
- 簡単な語句や短い文を書くことができる。

国語「読むこと」のねらい【3段階】

- 買い物に必要な語句や看板を読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。



【3段階】
コンビニ店内の文字表示

【3段階】買い物手順表



かいものをしよう

なまえ

1	かごに いれる	
2	いすものを かごにいれる	
3	れいにい いく	
4	おかねを だす	
5	しずと おつ をさ い る に い る	
6	いすものを ばく に い れ る	

①各教科等との関連（算数）

【2段階】金銭支払い時の教材 （硬貨マッチング）



算数「図形」のねらい【2段階】

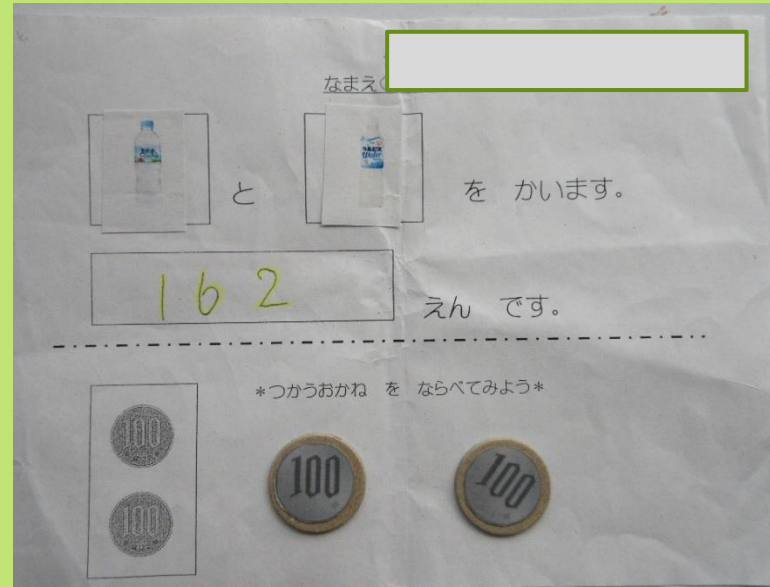
○同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりすることができる。

「数と計算」

○ものとものを対応させ、ものの個数が分かる。

○金種が分かる。

【3段階】 買い物メモ （品物の金額・使う硬貨）



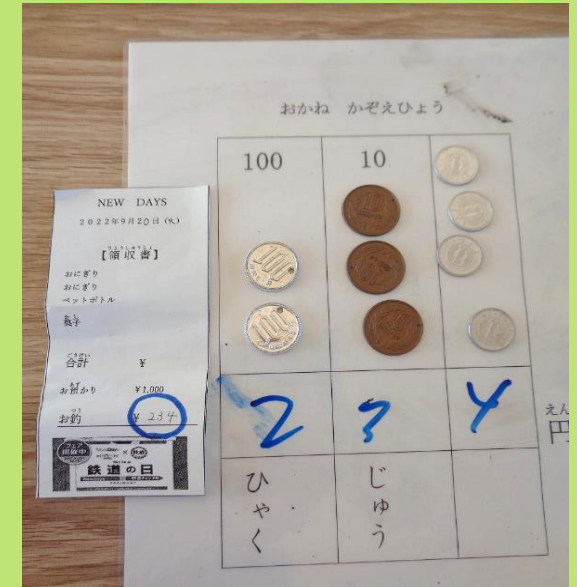
算数「数と計算」のねらい【3段階】

○具体物や図などを用いて数を数えたり、計算したりすることができる。

○金種や貨幣のもつ価値が分かる。

○おつりを扱うことができる。

【3段階】 おつりはいくら？ （お金の数え表）

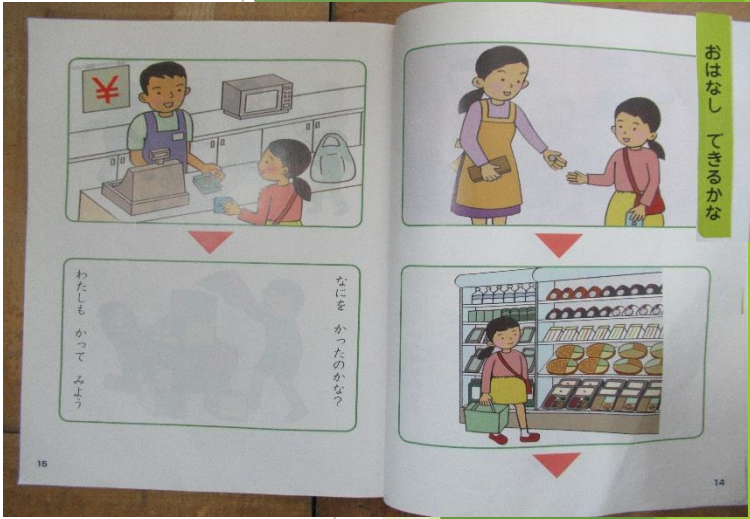


▶「買い物学習」での授業実践

②単元配列の工夫（小4）

	9月	10月
生単		「買い物をしよう」
国語	「おはなしできるかな☆☆」 （買い物に関する内容を含む）	
算数	「おかねのしゅるい」 ＊新しい題材を設定	

国語「おはなしできるかな」



算数「おかねのしゅるい」

お買い物しよう おかねを わくのなかに はりましょう。 名前					
					
えん	えん	えん	えん	えん	えん



▶「買い物学習」での授業実践

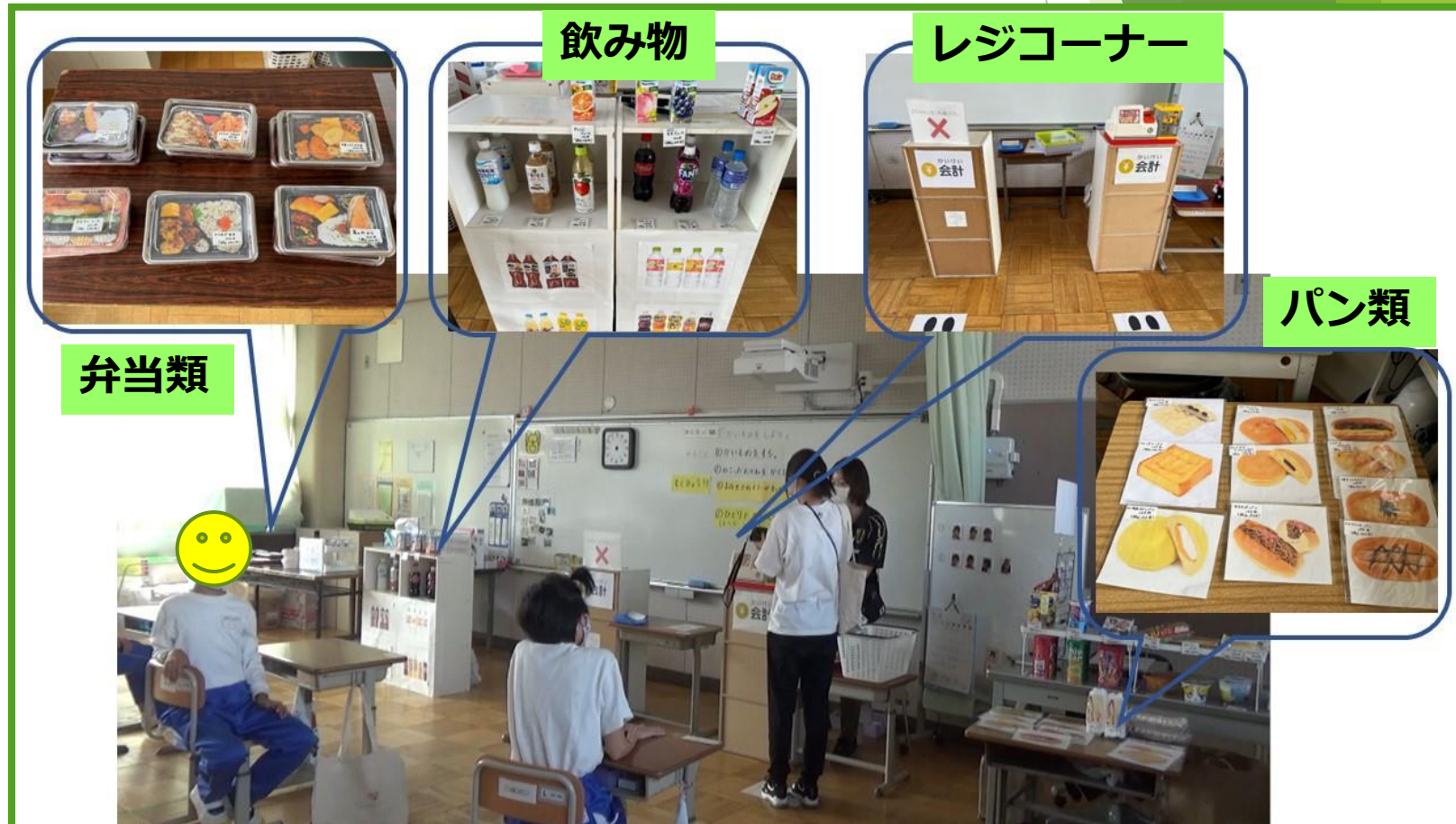
③実体験に近づけた教材教具の工夫

小2 模擬自動販売機



小6 コンビニ店舗の再現

実物に近い品物と陳列の工夫



【実践例】

小6 「校外学習へ行こう」



ねらい（＊買い物に関するもの【3段階グループ】）

- ①お店での買い物の手順が分かる。【知・技】
- ②目的に合わせた品物を自分で探し、一人で買い物ができる。【思・判・表】
- ③買い物の手順が分かり、見通しをもって進んで取り組もうとする。【学】

授業改善のポイント

- ▶ 実態別グループによる学習【各段階を意識した指導】
- ▶ 各教科（国語・算数）と関連づけた学習
- ▶ コンビニをリアルに再現した教材の工夫

【実践の様子】

品物を探す



パンはどこですか？

買う予定の商品がなくてもその場で考えて選ぶ

学習内容：

コンビニエンスストアでお弁当・飲み物・お菓子を組み合わせて（予算1,000円）買う



並んでレジを待つ



何にしようかな？

レジで
店員さんとやりとりする



いりません。

お箸は付けますか？

<児童の様子>

- 実際の買い物場面に近い形での実践により、
買う予定の品物がないときは、店頭にある品物の中から選んだり、
レジで店員から聞かれたことに答えたり、困ったときには質問したり
することができるようになった。
- 繰り返しの実践により、
買い物の一連の流れが分かるようになり、自分から進んで買い物で
きる児童が増えた。（少ない支援で買い物ができるようになった。）
- 実態別グループで実践したことにより、友達の行動や発言を受けて
自分がどうするか考えるなど、互いに学びあう姿がみられた。

(3) 研究の成果

単元におけるねらいの系統性

- ・ 共通単元で各段階を意識した指導
⇒ねらいに応じた学習内容と教材の工夫
着実な学習の積み重ねにつながる
- ・ 児童の実態がどの段階に該当しているかを把握すること
⇒**個に応じた指導に反映**される



1 段階⇒ 2 段階⇒ 3 段階

各教科等との関連の明確化

単元配列の工夫

- ・ 教員の意識の向上
- ・ 教科を意識した教材教具の工夫
- ・ 生単 ↔ 各教科との授業関連による相乗効果

⇒ 「わかる」授業は**主体的に学びに向かう力**に

「できた！」成功体験は**自信と意欲**へ

教科で定着した力は**「生活で使える力」**へ

わかった！
できた！



(4) 今後の課題

効果的な学習形態の検討



**各教科と関連させた
実態別グループでの授業**

単元指導計画の見直し



**系統性を意識した指導内容
や時数等の検討**

評価の在り方



**振り返りシートや評価基準
の検討**

【研究主題 C】 中学部

学校課題

「社会的・職業的自立に向け、生きて働く力の育成を目指した指導内容と評価の工夫」

(1) 研究の主な内容

- ①職員間での共通理解
- ②作業日誌の導入
- ③職業・家庭科の指導内容の見直し
- ④模擬即売会の実施

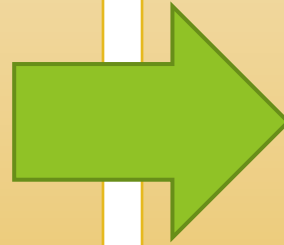
(2) 今年度の取り組み

①職員間での共通理解

R3年度高等部の実践研究より

中学部研究日より

働くイメージをもつ
成功体験を積む
将来への夢を抱く



挨拶
コミュニケーション
社会性
健康
お金の扱い

社会的・職業的自立に向けて育成したい力



- 自己理解
- 社会生活・職業生活に向けた対応力
 - 衛生を整える力
 - 課題解決能力
 - トラブルに対応する力
- 余暇の活用



- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
 - (挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力



- 心理的な安定
- 基本的生活習慣の定着
- コミュニケーションの基礎
 - (自ら発信する力・他者と関わる力)
- 役割の理解 (お手伝い・係活動など)



意欲・働くイメージ・夢



小学部



中学部

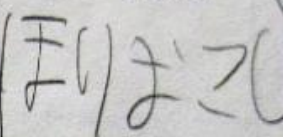


高等部



②作業日誌の導入

☆どんな作業をしましたか？ ○をつけましょう。				
				
なえうえ	くさむしり	しゅうかく	あきかん	その他
☆取り組みのようすはどうでしたか？				
				
		とてもよい	よい	もうすこし
☆先生から一言（担当： ）				

9月18日（金）				
【作業内容】 さきょうないよう	草むしり くさむしり	収穫 しゅうかく	エコバッグ エコバッグ	その他 その他
				
			よくできた 	できた 
				もうすこし 
今日の きょう 目標 もくひょう	あいさつ しせい 姿勢	へんじ ことばづか 返事 言葉遣い	ほうこく じゅんじ 報告 準備・片付け	かたづ あんぜん 安全
きょうがんば 今日頑張ったこと・つぎがんば 次頑張りたいこと				
かたづけをしました かたづけました。				
先生から】				
はないをまいて、へんじをしゃかん おこなうことができました。				

③職業・家庭科の指導内容の見直し

作業学習

違いは？

働くための学習

- ・挨拶・報告・返事　・時間内がんばる
- ・いろいろな作業に取り組む など

校内実習

「働くこと」
は？

毎日 働くための学習

- ・体力、体調管理　・責任をもって
- ・失敗してもがんばろうの気持ち
- ・自分から進んで　・誰かのために など

「校内実習」

- ・ **毎日 働く（はたらく）ための勉強**



だれかのために



- ・ クラスや委員会の仕事をがんばる
- ・ 家でのお手伝いをがんばる
- ・ 物を大切につかう
- ・ 「自分のため」でもあると 気付く
など

働く（はたらく）



傍（はた）



楽（らく）



そばにいる人を らくにする

- ・ 仕事をがんばる
- ・ 好きなことや楽しみがある
- ・ 休まず通う
- ・ いろいろな人と 関わる
- ・ 家以外の場所で 楽しく過ごす
- ・ 自分でできることは 自分でやる
など

「校内実習」

・毎日 働く（はたらく）ための勉強



つづける力・体力



- ・よくねる。
- ・はやおき する。
- ・朝ごはんをたべる。

など

まかされたことを いっしょうけんめいに



- ・目標を意識する。
- ・あいさつ、へんじを
しっかりする。

など

失敗しても 次がんばろう! のきもち



- ・次どうすればいいか
を考える。
- ・できるように
なりたい! と思う。

など

「校内実習」

・毎日 働く（はたらく）ための勉強



つづける力・体力（たいりょく）



- ・規則正しい生活
（早起き、朝ごはんをたべる、
清潔（手洗い・うがい・マスク）など）
- ・身だしなみ（衣服の調整）

など

責任をもってやる 自分からすすんで



- ・クラスや委員会の仕事をがんばる
- ・「OK」が出るまで がんばる
- ・「何かやることは ないかな」と思う

など

「校内実習」

・毎日 働く（はたらく）ための勉強



だれかのために



- ・クラスや委員会の仕事をがんばる
- ・家でのお手伝いをがんばる
- ・物を大切につかう
- ・「自分のため」でもあると 気付く

など

働く（はたらく）

傍（はた）

楽（らく）

そばにいる人を らく に すること

- ・仕事をがんばる
- ・好きなことや楽しみがある
- ・休まず通う
- ・いろいろな人と 関わる
- ・家以外の場所で 楽しく過ごす
- ・自分でできることは 自分でやる

など

事後学習（ワークシート）

<おもて>

・校内実習

1月23日(月)～27日(金)

・実習(じっしゅう)の目標(もくひょう)

・3年生らしく気を引きしめてがんばる

・えいせい・せいけつに気をつけて
さぎょうする。

・実習でがんばったこと、できるようになったこと

「3年生らしく気を引きしめてがんばる」は、「さすが3年生
といわれるくらい、さぎょうが正しいで、せんぶの日◎だった。

「えいせい・せいけつに気をつけてさぎょうする」は、わんどが

これからの作業学習でがんばること(がんばらないように、いしできた。

とくに、「えいせい・せいけつに気をつけて、さぎょうする」は、
しょうらい、わたしがはたらきたいしごとで
すごくじゅうやうなので、そのけいけんをバネに、
がんばると、わたしはみずから、ちがいます。
<うらもあります。>

<うら>

「校内実習」

・毎日働く(はたらく)ための勉強



がんばったこと(がんばっていること)に○をつけましょう。

	○	
体調管理(たいちょうかんり) つづける力・体力(たいりょく)	責任をもって・自分から	だれかのために
↓	↓	↓
・規則正しい生活 (早起き、朝ごはんをたべる、運動、 清潔(手洗い・うがい・マスク)など) ・身だしなみ(衣服の調整) ・朝の健康確認 など	・クラスや委員会の仕事をがんばる ・「OK」が出るまでがんばる ・「何かやること(できること)は ないかな」と思う など	・クラスや委員会の仕事をがんばる ・家でのお手伝いをがんばる ・物を大切に扱う ・「自分のため」でもあると気付く など

「↑これからの 作業学習や 校内実習のときだけでなく、

ふだんの生活でも 毎日がんばれると いいですね。」

事後学習（ワークシート）

・校内実習 1月 23日（つき）～27 日（きん）

・実習（じっしゅう）の目標（もくひょう）

・先生のはなしをきいていねいにさしこに

とりくむ

・たまむすびをじぶんでできるようにがんばる。

・実習でがんばったこと、できるようになったこと

たまむすびがひとりでできるようになった。

せんにそってていねいにぬう。

ミシンがけ



・これからの作業学習でがんばること

やすまずのりきれるようにたいちょうをととのえる。

じぶんからほうこくする。



<うらもあります。>

・校内実習 / 月 23 日（げう）～ / 日（きて）

・実習（じっしゅう）の目標（もくひょう）

・できょうにひとりむじかんをのびす。

・おちついてさいごまでできょうをする。

・がんばったこと

・ういねートはかきし

・なかなかできょうにひとりでぬえなかった。



・ふりかえり

おちつかないときもありました。

よくできた



できた



もうすこし



④模擬即売会の実施

①ていねいな接客をしよう

②完売をめざそう

みんなが分かる



③他の班のよいところを
みつけよう

目標を意識した取り組み

④模擬即売会の実施

いいねチケットの導入



○販売数が視覚的にわかる

○模擬即売会とふよう祭で比較できる

④模擬即売会の実施

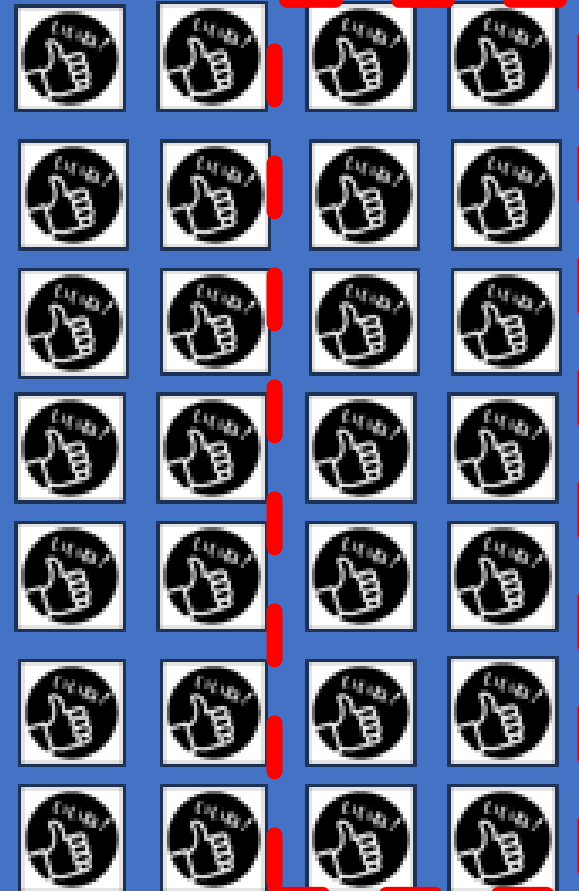
模擬即売会



- 考える
- やる気になる
- 動き出す



ふよう祭即売会



④模擬即売会の様子

いらっしゃいませ！
農園芸・エコ班です

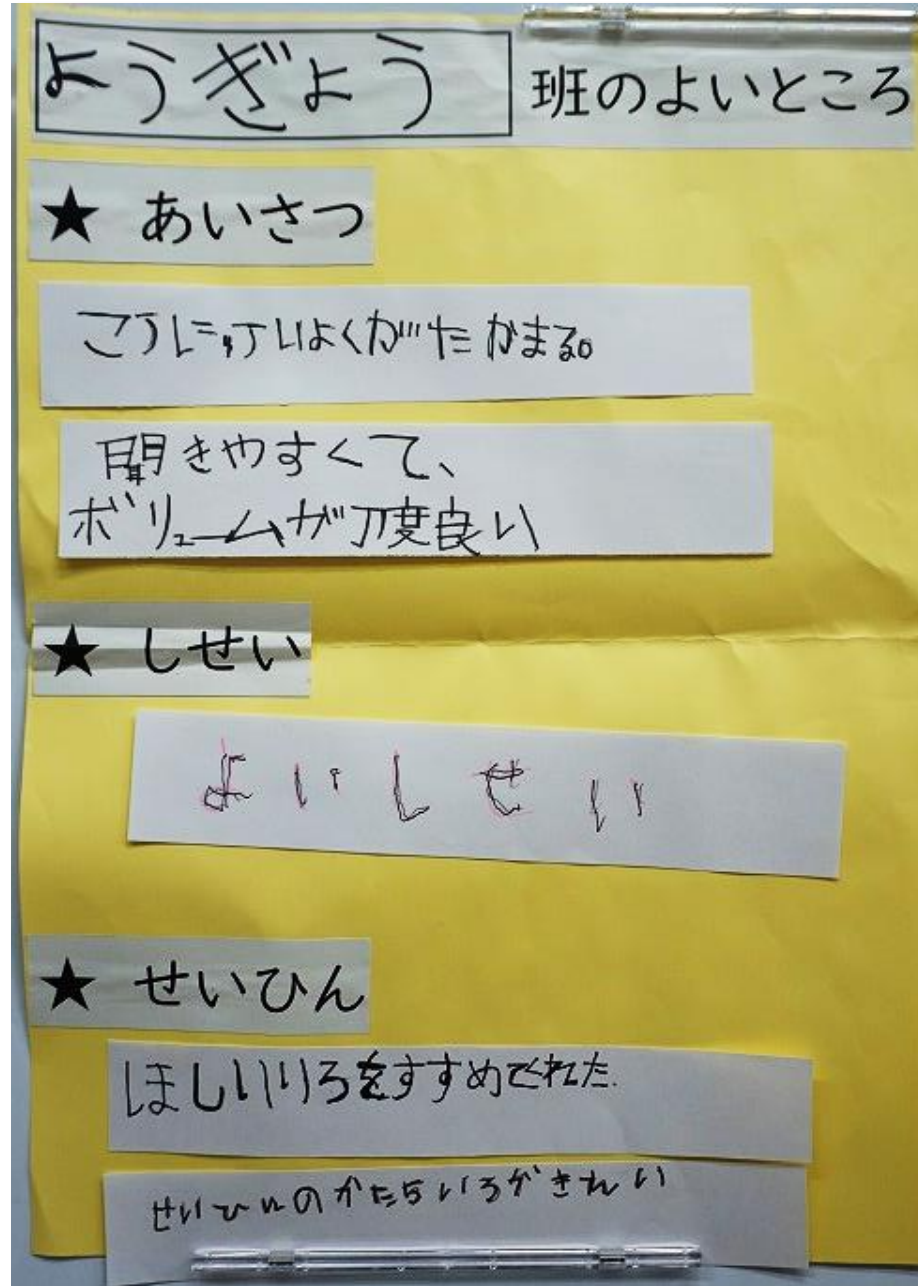


接客の練習
「どうぞ！」



④模擬即売会

他の班の良いところを見つける



丁寧に扱おう

良い製品を作ろう



④模擬即売会

他の班の良いところを見つける

自己評価

他者評価

目指す自分

ふよう祭即売会の様子

ありがとうございました！



こちらの製品がおすすめです！



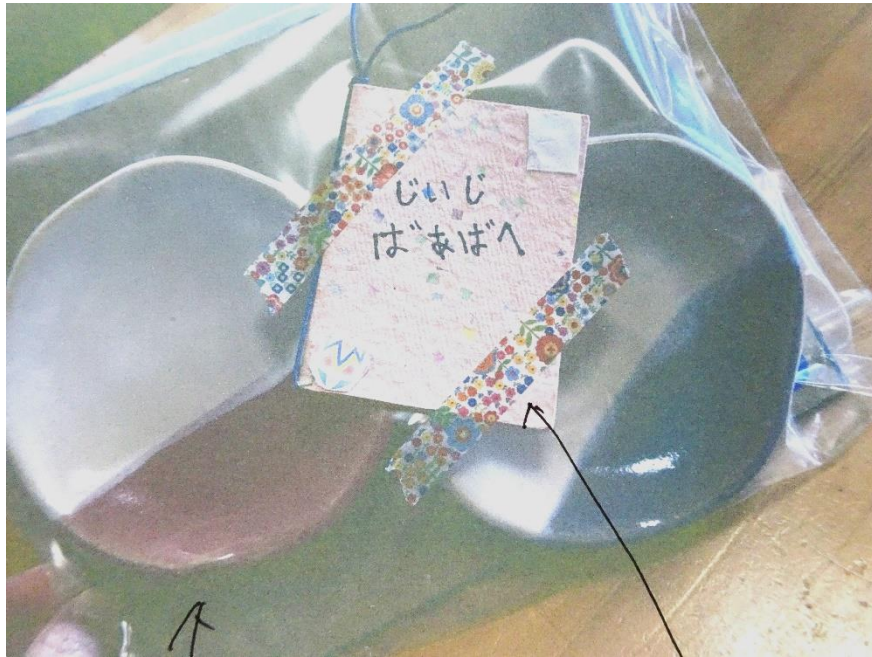


作業製品購入者の感想

ランチョンマットとコースター
とても気に入って使っています
素敵な製品をありがとう

作業製品購入者の感想

おいしい野菜をありがとう！



リサイクル班のメッセージカードを添えて
窯業班のお皿をプレゼントしました！！



笑顔・元気な挨拶が
よかったです！！

社会的・職業的自立に向けて育成したい力

将来



- 自己理解
- 社会生活・職業生活に向けた対応力
 - 衛生を整える力
 - 課題解決能力
 - トラブルに対応する力
- 余暇の活用



- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
 - （挨拶・返事・報告・相談など）
- 基本的な作業能力



- 心理的な安定
- 基本的生活習慣の定着
- コミュニケーションの基礎
 - （自ら発信する力・他者と関わる力）
- 役割の理解（お手伝い・係活動など）



意欲・働くイメージ・夢



小学部



中学部



高等部



(3) 研究の成果

働くことの意義

職・家の見直し

模擬即売会

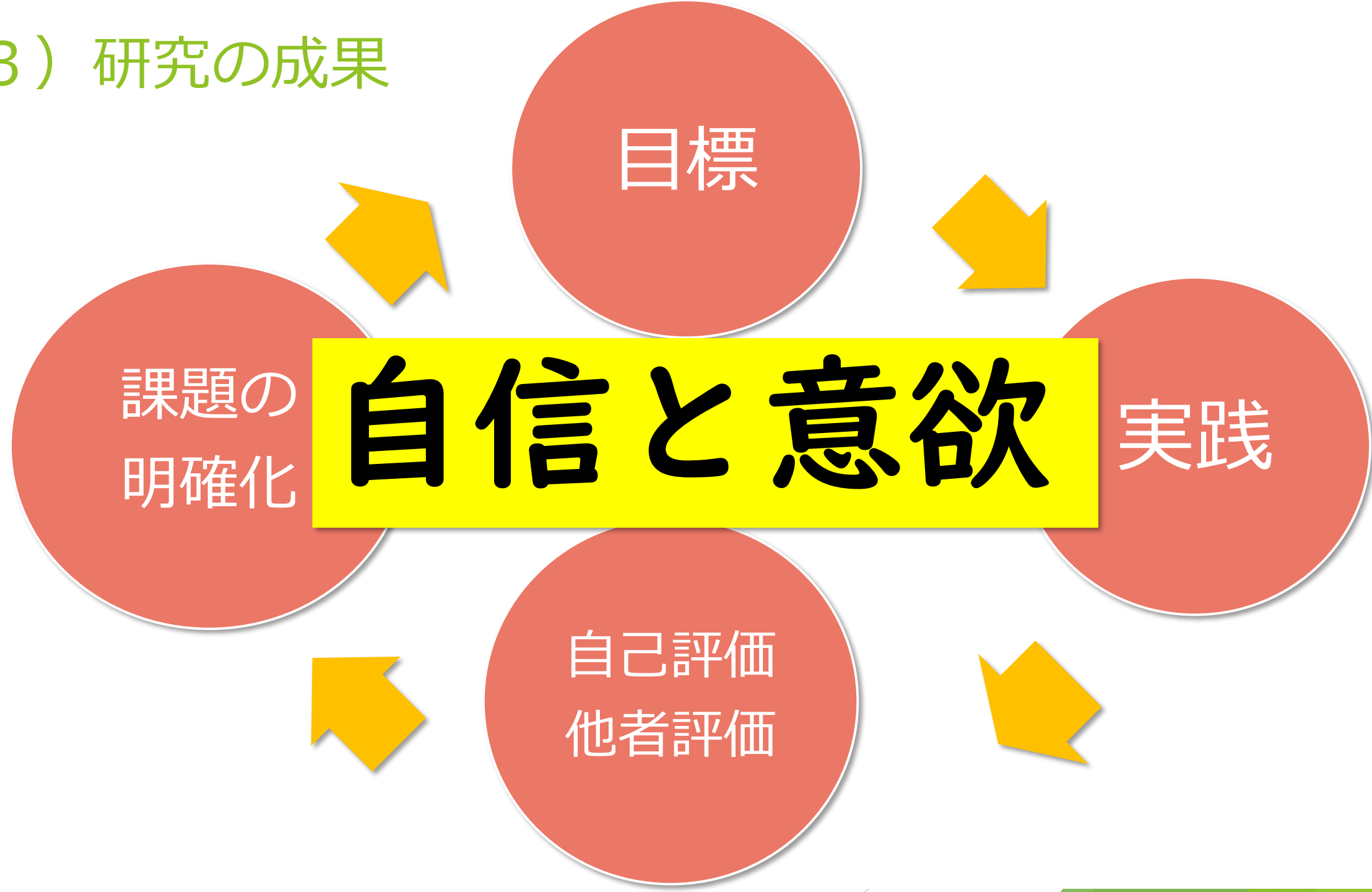
作業日誌

目標の明確化
挨拶、報告

働くイメージ、意欲



(3) 研究の成果



(4) 今後の課題

実践の場を広げる

どこでも

普段の指導に
取り入れる

長期的に継続する

ずっと

教材、マニュアル等
を引き継ぐ

自己調整力の育成

来年度！

自立活動での実践へ

5 研究のまとめ

～チーム富屋で大切にしたいこと～

すべての指導目標の基本となるのは

的確な実態把握

子ども一人一人の

良いところ

できること

興味・関心

に着目することを大切に!!



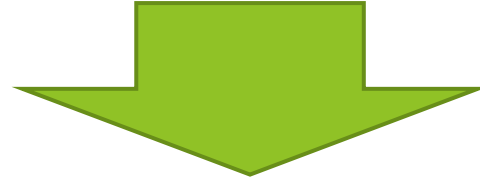
新学習指導要領における

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

これらを実現
させるために



より良い改善を前向きに
【常にアップデートを！】

教育課程は
適切？

各教科の時数は？

学習形態は？

学習内容は？

新しい単元が
必要？



6 今後の研究について

各研究主題 → 令和5年度継続
(2年計画の2年目)

* 教育課程研究集会

令和5年8月 研究主題A・C 発表
(令和4～5年度の研究を発表予定)

おわりに

チーム富屋で

子どもたちに笑顔を

